

指定管理者制度活用事業 評価シート(高齢センター)

1. 基本事項

施設名称	川崎市高齢社会福祉総合センター 「人材開発研修センター・保健福祉研究センター」	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 ・代表者名 会長 齊藤 二郎 ・住所 川崎市中原区上小田中6-22-5	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	(1)人材育成研修					
	介護職員初任者研修会	回数	定員	受講者数	修了者数	
	4社協共催トップセミナー※2	1		300	256	
	福祉職員向け現任研修	43	1,542	1,229		
	認知症研修	7	230	180	174	
	介護福祉士資格取得準備講習(講義)	1	40	33		
	介護福祉士資格取得準備講習(実技)	1	40	18		
	重度訪問介護従事者養成研修	1	20	15	15	
	予防給付ケアマネジメント従事者等研修	1		87	80	
	※2 横浜市、神奈川県、相模原市、川崎市					
利用実績	(2)地域への普及啓発					
	福祉情報ミニ講座	回数	定員	参加者数		
	福祉用具講座	4	160	137		
	介護講座	2	20	13		
	介護講座	4	80	76		
	地域講座(出張講座)	5		138		
	介護いきいきフェア	1	600	950		
	認知症講座(キャラバン・メイト養成講座)	1	80	66		
	認知症講座(サポーター養成講座)	1	100	219		
	サポーター養成講座への支援	131		4,194		
認知症キャラバンメイト・フォローアップ研修	1		36			
利用実績	福祉用具常設展示及び相談件数					
	展示数	電話相談	来所相談	研修生対応	展示見学	
	67	7	32	28	66	
利用実績	介護・福祉資料等貸出		書籍・雑誌		ビデオ・DVD	
			蔵書数	貸出数	所有数	貸出数
	福祉関係		2,025	221	468	121
	医療・看護関係		391	6	69	10
	その他		159	12	68	9
		合計	2,575	239	605	140
利用実績	種類		保有数	利用者	利用数	
	視聴覚機材		9	1	3	
	高齢者疑似体験		5	1	3	
収支実績	(収入) (単位:円)		(支出) (単位:円)			
	指定管理料	83,943,408	人件費	38,969,323		
利用料金	5,274,288	事務費	28,257,844			
その他収入	65,000	事業費(人材開発研修センター)	13,829,118			
収入計	89,282,696	事業費(保健福祉研究センター)	3,952,620			
		支出計	85,008,905			
		(収支差額)	4,273,791			
サービス向上の取組	<p>収入面のみ意識するのではなく、高齢社会福祉総合センターの使命一つとして、多くの福祉従事者に有益な情報を持ち帰ってもらう、今後の研究材料としてもらう、現場に活かしてもらう等を常に心がけ、ニーズに即した研修の充実に努めている。</p> <p>独自の取組として、研修の中に「お仕事紹介」、「施設等見学」、「就労相談ブースの設置」など、独自のカリキュラムを組み入れるなどの工夫を行っている。</p> <p>研修内容については、研修受講者等に対し、随時アンケート調査を行い、結果を反映するなど、効果的な研修の実施、受講率の向上に努めている。</p> <p>介護、福祉に関する知識の普及と専門職の質の向上を目的として、ビデオ、書籍、DVDの貸し出しを実施しているが、総合福祉センター(武蔵中原駅前)においても返却可能とするなど、利便性に配慮している。</p> <p>新たな福祉用具展示のあり方を川崎市福祉サービス協議会や川崎市経済労働局と協議を重ね、新しい福祉用具を無償貸与してもらい展示するなど、定期的な見直しに努めている。</p> <p>地域との連携に関して、「地域講座」を区社会福祉協議会を通じて地域の団体等に周知を図り、積極的に連携に努めている。また、「認知症について詳しく知りたい。」という地域からの要望を受け、講師を人材開発センターが把握している中から選出し、当該地域に紹介し、講座を実施するなど、地域との良好な関係の構築にも取り組んでいる。</p> <p>研修受講者や書籍の閲覧等で来館する利用者から多数の要望を受けていたコピー機をホールに設置し、来館者が自由に使用できるようにした。</p> <p>個人情報について法人の規定によって厳重に管理したほか、プライバシーポリシーの入口への掲示やチラシへの記載を行っている。また、入口への手指消毒液設置等によって感染症対策に努めたほか、併設施設と共同での防災訓練等にて安全管理への取組を推進している。</p> <p>施設及び設備の維持、管理においては、委託を一元化するとともに、関係者による庁舎管理会議を年2回開催し、施設の計画的な修繕及び維持管理について共通認識化を図っている。</p>					

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	人材育成研修	福祉の現場・時代のニーズ等に合わせた研修の提供が行われているか	10	4	8
		研修の実施回数・定員等は適切か			
	普及啓発講座等	地域・時代のニーズ等に合わせた講座等の提供が行われているか	10	4	8
		講座等の実施回数・定員等は適切か			
		福祉機器の展示・資料貸出等は、市民への介護の普及啓発として適切に行われているか			
事業の周知	利用促進のため効果的な事業の周知・広報等を行っているか	5	4	4	
関係機関等との連携	関係機関及び地域との連携を積極的に行っているか	5	4	4	
<p>(評価の理由)</p> <p>地域との連携に関して、「地域講座」を区社会福祉協議会を通じて地域の団体等に周知を図り、積極的に連携に努めている。また、「認知症について詳しく知りたい。」という地域からの要望を受け、講師を人材開発センターが把握している中から選出し、当該地域に紹介し、講座を実施するなど、地域との良好な関係の構築にも取り組んでいる。</p> <p>福祉用具の展示については、介護用ベッド、ポータブルトイレ、車いす等を実際の使用場面を想定した配置を行うなど、どのような場面で使用する用具なのか分かりやすく展示する工夫を行っている。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		指定管理料に見合う事業効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
収入増加のための具体的な取組が為されているか					
適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>収支バランスが良く、実施している研修の受講率も高い。</p> <p>高機能の印刷機の導入し、研修資料等の効率的な作成を行う環境を整備し、また、機器のリースを複数年契約とし、経費の削減に取り組んでいる。</p> <p>利用者から受け取る受講料は、適切に管理されている。また、現金の出し入れについては、特定の職員のみが行い、出し入れに際しては他の職員の確認を受けながら、金額の確認と、相互確認を行うなど適正に管理されている。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	5	4	4
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取組がなされているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか	10	4	8
利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか					
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
<p>(評価の理由)</p> <p>研修内容については、研修受講者等に対し、随時アンケート調査を行い、結果を反映するなど、効果的な研修の実施、受講率の向上に努めている。</p> <p>介護、福祉に関する知識の普及と専門職の質の向上を目的として、ビデオ、書籍、DVDの貸し出しを実施し、また、貸出窓口をセンター内に設け、利用者の利便性の向上を図っている。</p> <p>独自の取組として、研修の中に「お仕事紹介」、「施設等見学」、「就労相談ブースの設置」など、独自のカリキュラムを組み入れるなどの工夫を行い、利用者から評価を得ている。</p> <p>展示ホールにモニタを設置し、福祉用具の使用方法を映像で説明するなどの工夫を行っている。</p> <p>研修や講座の参加者に対して、事前・事後のアンケートを実施して、研修のニーズ把握に努めている。また、昨年度研修の定員に対する参加率を参考にし、50パーセント以下の研修の実施意義を検討して、積極的な見直しを図るなどの取組が行われている。</p>					
組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
感染症への対策は適切に行われているか					
コンプライアンス	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。	5	4	4	
	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか				
<p>個人情報の管理は適切に行われているか</p>					

	<p>(評価の理由)</p> <p>新たな福祉用具展示のあり方を川崎市福祉サービス協議会や川崎市経済労働局と協議を重ね、新しい福祉用具を無償貸与してもらい展示するなど、定期的な見直しに努めている。</p> <p>感染症対策として、センター入口や外部会場で研修を行う場合の受付に、手指消毒液と使い捨てマスクを設置し、予防に努めている。</p> <p>事故等については、発生していない。</p> <p>法令遵守について、個人情報要綱に基づき施錠等によって適切に管理した他、個人情報の保護・使用の基本方針「川崎市社会福祉協議会プライベートポリシー」をセンター入口に掲示し、利用者に提示している。</p>				
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか				
	<p>(評価の理由)</p> <p>福祉用具展示ホールの窓に使用していたカーテンの代わりに紫外線防止及び震災時のガラス飛散防止のためにフィルムを張り、外から様子が良く見えるような工夫を行っている。</p> <p>施設及び設備の維持、管理においては、委託を一元化するとともに、関係者による庁舎管理会議を年2回開催し、施設の計画的な修繕及び維持管理について共通認識化を図っている。</p>				

4. 総合評価

評価点合計	75	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>研修実施主体として、効果的な研修実施のためのニーズ調査、把握、また、研修に独自のカリキュラムを組み込むなど工夫を加えながら、研修受講率の向上にも繋がっている。</p> <p>福祉用具等の展示物についても、関係機関との協議を重ね、無償により貸与を受け、また、レイアウトに工夫を凝らすとともに、モニタを活用しながら分かりやすい説明に努めるなど、来館者への利便性、配慮にも積極的に取り組んでいる。</p>
--

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし。
